

2 東京電力福島原子力発電所事故に係る両議院の議院運営委員会の 合同協議会・東京電力福島原子力発電所事故調査委員会

合同協議会委員名簿（30名）

【衆議院】（15名）					
会 長	小平 忠正（民主）	幹 事	佐藤 勉（自民）	高木 毅（自民）	
幹 事	松野 頼久（民主）	幹 事	遠藤 乙彦（公明）	佐々木 憲昭（共産）	
幹 事	山井 和則（民主）		田名部 匡代（民主）	服部 良一（社民）	
幹 事	笠 浩史（民主）		糸川 正晃（民主）	[委員外議員]	
幹 事	川内 博史（民主）		鷺尾 英一郎（民主）	中島 正純（国民）	
幹 事	塩崎 恭久（自民）		太田 和美（民主）		
【参議院】（15名）					
会長代理	鶴保 庸介（自民）	幹 事	長沢 広明（公明）	水戸 将史（民主）	
幹 事	小川 敏夫（民主）	幹 事	水野 賢一（みん）	岩城 光英（自民）	
幹 事	松井 孝治（民主）		川合 孝典（民主）	山崎 力（自民）	
幹 事	川崎 稔（民主）		藤本 祐司（民主）	[委員外議員]	
幹 事	松山 政司（自民）		相原 久美子（民主）	荒井 広幸（日改）	
幹 事	義家 弘介（自民）		藤原 良信（民主）		（23. 11. 2 現在）

事故調査委員会委員長及び同委員名簿（10名）

委員長	黒川 清君（医学博士、東京大学名誉教授、元日本学術会議会長）
委員	石橋 克彦君（地震学者、神戸大学名誉教授）
	大島 賢三君（独立行政法人国際協力機構顧問、元国際連合大使）
	崎山 比早子君（医学博士、元放射線医学総合研究所主任研究官）
	櫻井 正史君（弁護士、元名古屋高等検察庁検事長、元防衛省防衛監察監）
	田中 耕一君（化学者、株式会社島津製作所フェロー）
	田中 三彦君（科学ジャーナリスト）
	野村 修也君（中央大学大学院法務研究科教授、弁護士）
	蜂須賀 禮子君（福島県大熊町商工会会長）
	横山 禎徳君（社会システム・デザイナー、東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム企画・推進責任者）
	（23. 12. 8 現在）

（1）発足の経緯

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故の原因調査等を国会として行うため、第177回国会の8月9日に自民、公明及び日

本の共同で、東京電力福島原子力発電所事故調査委員会法案（衆第24号）及び国会法の一部を改正する法律案（衆第25号）が衆議院に提出された。両法律案はいず

れも衆議院において継続案件とされたが、第178回国会の会期末になって修正協議がまとまり、9月29日に両法律案が撤回され、新たに衆議院議院運営委員長提出による国会法の一部を改正する法律案（衆第1号）及び東京電力福島原子力発電所事故調査委員会法案（衆第2号）が衆議院本会議において可決され、30日には参議院本会議においても可決、成立した。

第179回国会に入り、10月30日に両法が施行されたのを受け、11月2日に衆参両院において東京電力福島原子力発電所事故に係る両議院の議院運営委員会の合同協議会委員が15名ずつ選任された。これ

を受けて同日、合同協議会が開会され、合同協議会の会長を選任し、会長代理が指名された後、幹事及び委員外議員が選任された。以後、幹事を中心に調査委員会の委員長、委員の選考作業が進められた。委員長、委員の候補者選考が終了したことから、12月1日の合同協議会における推薦の決定を経て、2日の衆参それぞれの本会議において、委員長及び委員10名を任命することが承認された。8日には、両院議長より委員長、委員に辞令が交付され正式に任命された。これにより原発事故調査委員会の活動が開始された。

（２）合同協議会経過

○平成23年11月2日（水）（第1回）

- 会長を選任した。
- 会長において、会長代理を指名した。
- 幹事を選任した。
- 委員外議員を選任した。

○平成23年12月1日（木）（第2回）

- 幹事の補欠選任を行った。
- 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員長及び同委員の推薦について決定した。
- 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会事務局の事務局長及び部長についての意見に関する件について決定した。

○平成23年12月8日（木）（第3回）

- 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員長及び同委員から就任挨拶があった後、各党から発言があった。